

令和4年11月10日

文教警察委員会資料

(ページ)

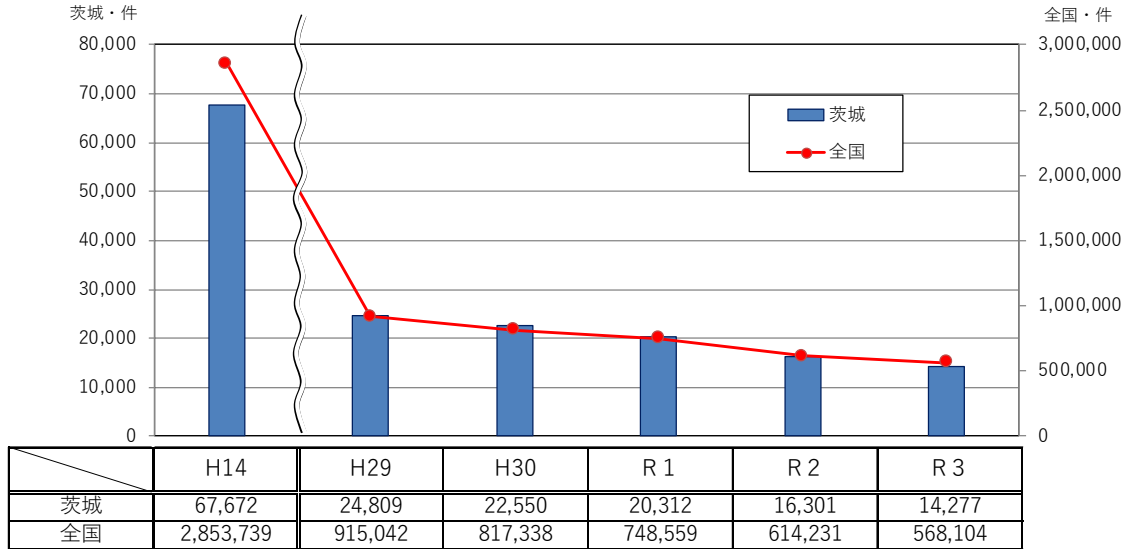
○ 県内の治安情勢について	1
○ 治安課題（犯罪・交通事故の抑止）の解決策	3
○ 警察における犯罪被害者支援について	6
○ 高齢者等に係る行方不明者発見活動の推進について	8
○ 防犯における自助・共助の裾野拡大について	10
○ 迅速かつ的確な初動警察活動の推進について	11
○ 重要犯罪の検挙について	13
○ 飲酒運転の根絶について	14
○ 冬期におけるスリップ事故防止対策について	15
○ 多様化する脅威への対策について	16

茨城県警察本部

○ 県内の治安情勢について

1 犯罪情勢

(1) 刑法犯認知件数の年次推移



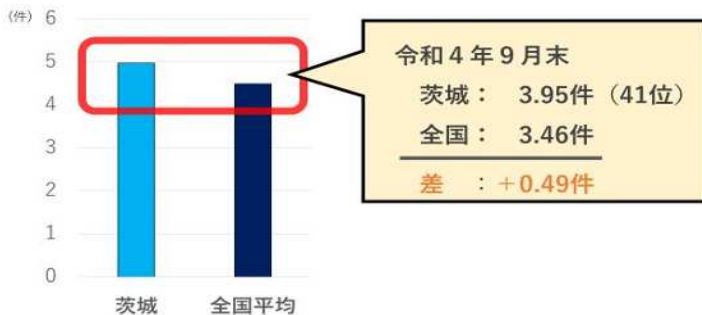
《令和3年比で増加した主な犯罪》

- ・非侵入窃盗その他 1,944 件 (+378 件)
- ・自転車盗 1,095 件 (+146 件)
- ・万引き 1,552 件 (+47 件)

※R4は暫定値

	R3 9月	R4 9月	増減 (率%)
茨城	10,734	11,272	538 (5.0)
全国	420,414	434,442	14,028 (3.3)

(2) 茨城県の犯罪率



○ 合計の件数に換算すると、当県の刑法犯認知件数は全国平均に比べ約1,400件多い

《全国と比較して犯罪率が高い罪種》 ※令和4年1月～9月

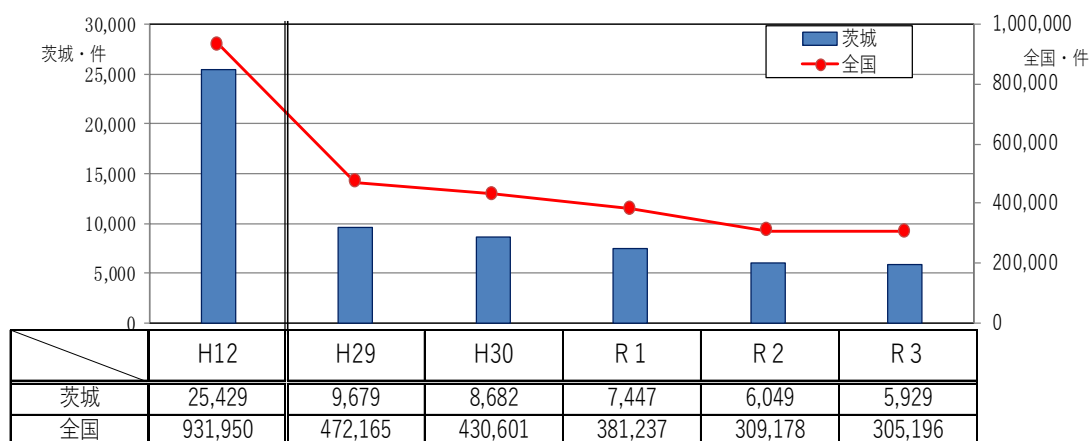
	県内 認知件数	全国 順位	犯罪率 全国比	県内 犯罪率	全国平均 犯罪率
空き巣	524	47位	3.0倍	0.18	0.06
忍込み	156	43位	2.7倍	0.05	0.02
事務所荒し	144	47位	5.1倍	0.05	0.01
自動車盗	438	47位	5.1倍	0.15	0.03
車上ねらい	623	46位	1.7倍	0.21	0.13
部品ねらい	353	45位	1.8倍	0.12	0.07
非侵入窃盗 その他※	1,944	47位	2.1倍	0.68	0.32

(3) 茨城県の地域性と犯罪傾向



2 交通事故情勢

(1) 人身交通事故件数の年次推移



- 平成12年をピークに21年連続で減少
- 令和4年9月末の人身事故発生件数は4,386件 (前年比+182件、+4.3%)

	R3 9月	R4 9月	増減 (率%)
茨城	4,204	4,386	182 (4.3)
全国	217,679	216,225	-1,454 (-0.7)

(2) 交通事故発生の現状 (令和4年9月末)

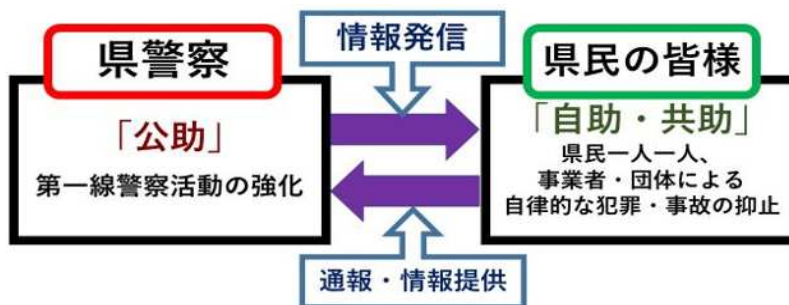
	人身交通事故				物件事故
	発生件数 (件)	死者数(人)	負傷者数(人)		発生件数 (件)
			負傷者総数 (人)	重傷者数 (人)	
令和4年	4,386	57	5,409	454	50,699
前年比較(増減数)	+182	+1	+286	-13	+2,972
令和3年	4,204	56	5,123	467	47,727

- 人身交通事故件数、物件事故件数、事故死傷者数はいずれも前年と比較して増加
- 1日当たりで換算すると、人身事故は16.1件、死傷者数は20人、物件事故は185.7件 (県内で毎日200件以上の交通事故が発生し、20人の方々が死傷)

○ 治安課題（犯罪・交通事故の抑止）の解決策

1 基本的な考え方

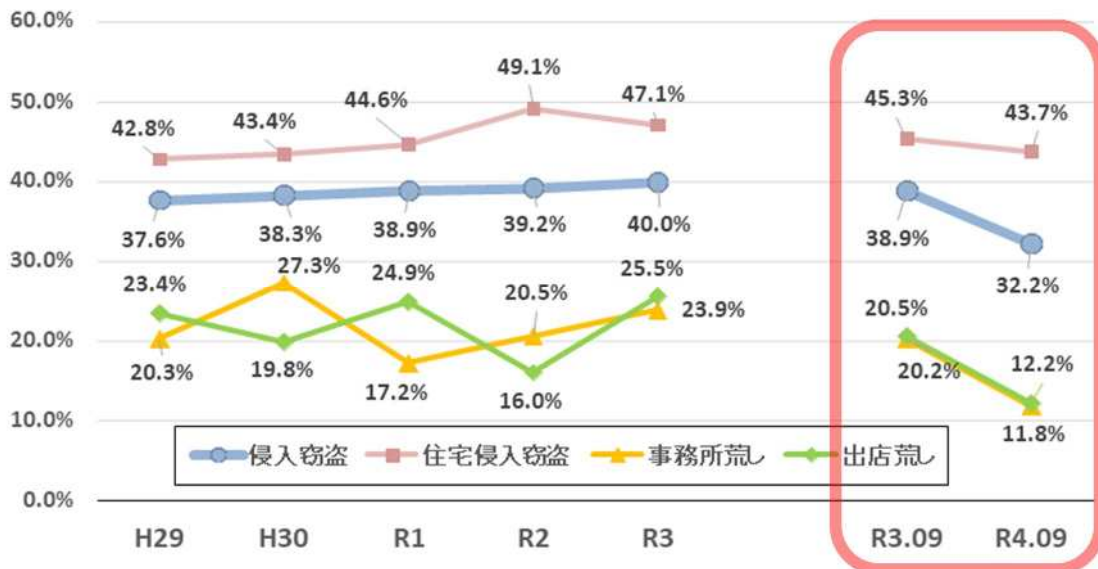
- ア 県警察は、「公助」として、悪質性の高い犯罪に重点を置いた各種犯罪の捜査・検挙、犯罪・事故を抑止するためのパトロールや取締り等、第一線警察活動をより一層強化。
- イ 県警察の「公助」と県民による「自助・共助」の相乗効果を発揮することにより、社会全体の、犯罪・事故・災害に対する「抵抗力」、「免疫力」、有事における「対処能力」を強化。
- ウ 県警察は、県民の「自助・共助」を促進するため、県民に治安情勢や警察の取組等について積極的に情報発信を推進。また、県民からの通報・情報提供により、「公助」たる第一線警察活動を効果的に推進。



2 県民の皆様による自助・共助の促進に係る現状と課題

(1) 侵入窃盗被害防止のための「鍵かけ」

《無施錠で被害にあった割合の推移》



(2) 地域における防犯カメラの設置

ア 市町村の街頭防犯カメラ設置に係る県の補助

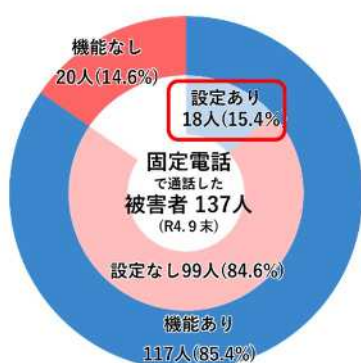
- 令和3年度 32市町 120台補助
- 令和4年度 39市町村 120台補助

イ 自治会等による自主的な防犯カメラ設置の例

	年度	自治会名	設置台数
龍ヶ崎市	H29	佐貫2丁目自治会 他2自治会	5
	R1	佐貫町昭和自治会 他1自治会	3
	R2	南が丘自治会 他1自治会	4
	R3	野原自治会 他2自治会	4
	R4	久保台1～3	5
東海村	R2	緑ヶ丘区自治会	5
笠間市	R4	笠間(20区) 他1自治会	4
水戸市	R4	けやき台	5

(3) ニセ電話詐欺被害防止のための留守番電話設定

ア 被害者の留守番電話設定状況



○ 留守番電話設定をしていた方が被害にあった理由

- 咄嗟に出てしまった 14人
- 知人だと思って出た 4人

イ 最近の茨城県と全国のニセ電話詐欺被害認知

		令和4年9月末		令和3年9月末		増減		増減率	
		認知件数	被害額(億円)	認知件数	被害額(億円)	件数	被害額(億円)	件数	被害額(億円)
ニセ電話詐欺合計	全国	12,158	246.6	10,757	205.2	1,401	41.4	13.0%	20.2%
	茨城県	177	3.58	201	3.62	-24	-0.04	-11.9%	-1.1%
オレオレ詐欺 + 還付金詐欺	全国	6,092	121.5	5,237	98.0	855	23.5	16.3%	24.0%
	茨城県	78	1.97	87	1.69	-9	0.28	-10.3%	16.6%

(4) ニセ電話詐欺被害発生の水際阻止

ア 最近におけるニセ電話詐欺の被害と水際阻止の状況

	認知件数	阻止件数	阻止率
令和4年9月末	177	188	51.5%
令和3年9月末	201	193	49.0%

イ 県内各金融機関におけるATMの振込年齢制限

- ・ 昨年、還付金詐欺が大幅に増加(令和2年12件→令和3年64件)
- ・ 被害者の89%が65歳から69歳の年齢
- ・ 県内各金融機関にATMの振込年齢制限を70歳から65歳へ引き下げを依頼

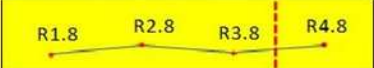
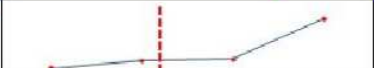



(5) 「その手で合図！止まってくれてありがとう大作戦」

ア 信号機のない横断歩道での停止率（JAF 実態調査結果）

	停止率 (%)	順位	全国平均 (%)
令和 3 年	19.0	42 位	30.6
令和 4 年	26.3	40 位	39.8

○ 令和 4 年は停止率が 7.3 ポイント上昇したが、全国平均よりも低い

イ 施策開始と停止率増加の推移

	R3	R4	前年比	停止率 (R1-R4推移)	施策開始時期	プロジェクト名
茨城	19.0% 42位	26.3% 40位	+7.3P		R4.3~	「その手で合図！止まって くれてありがとう大作戦」
青森	14.0% 45位	56.7% 7 位	+42.7P		R2.10~	「ハンド&サンクス」
岡山	10.3% 47位	49.0% 20位	+38.7P		R2.11~	「歩行者優先安全プロジェ クト」
広島	24.1% 34位	50.0% 17位	+25.9P		R2.6~	「みんなで歩行者事故ゼロ プロジェクト」
山口	31.0% 22位	52.9% 14位	+21.9P		R2.9~	「横断歩道ハンドサイン運 動」

○ 停止率大幅増加府県は、令和 2 年に施策を開始し、1 年以上経過してから停止率が上昇

(6) 県内企業の技術流出防止

ア 技術流出の具体的な手口



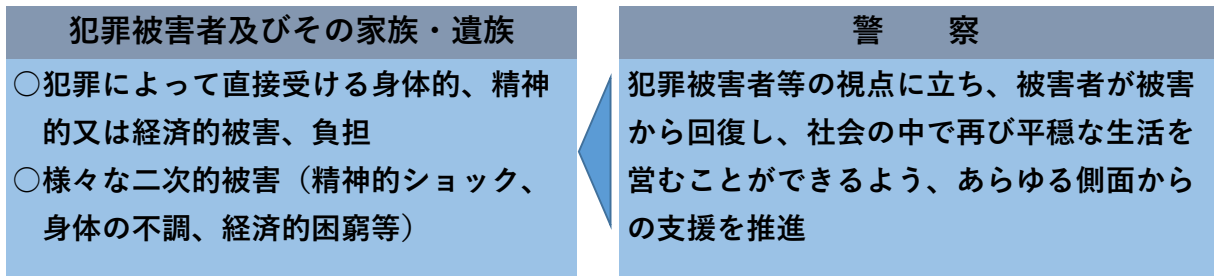
イ 経済安全保障に係る警察の取組

- ・ 技術流出事案の情報収集・分析と違法行為の取締り（警察による「公助」）
- ・ 重要な技術情報を保有する企業・アカデミアに技術流出の実態や対策のノウハウにつき情報提供する「アウトリーチ活動」の推進（警察の企業等の「自助」の支援）



○ 警察における犯罪被害者支援について

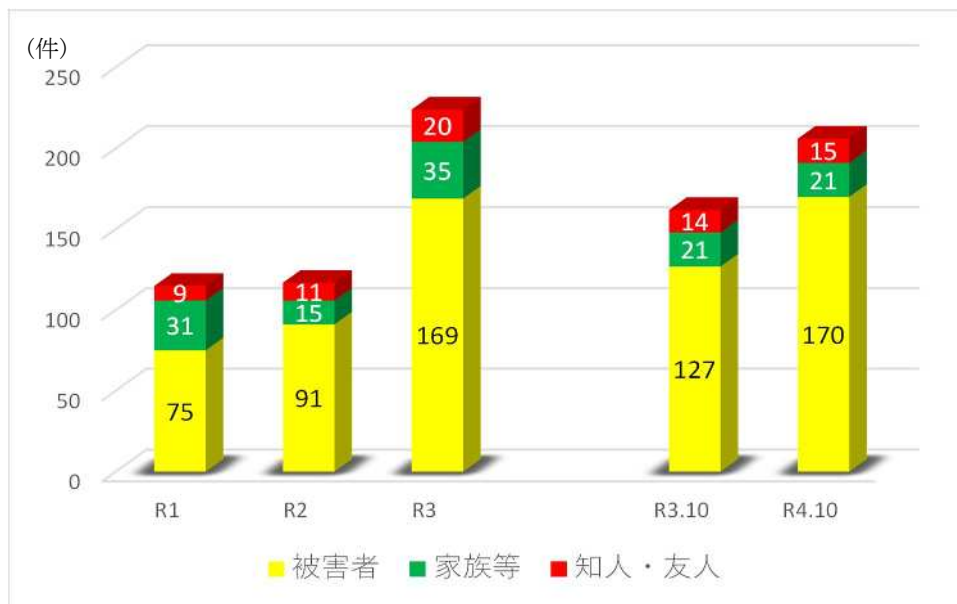
1 犯罪被害者支援における警察の役割



2 犯罪被害者支援に関する主な施策

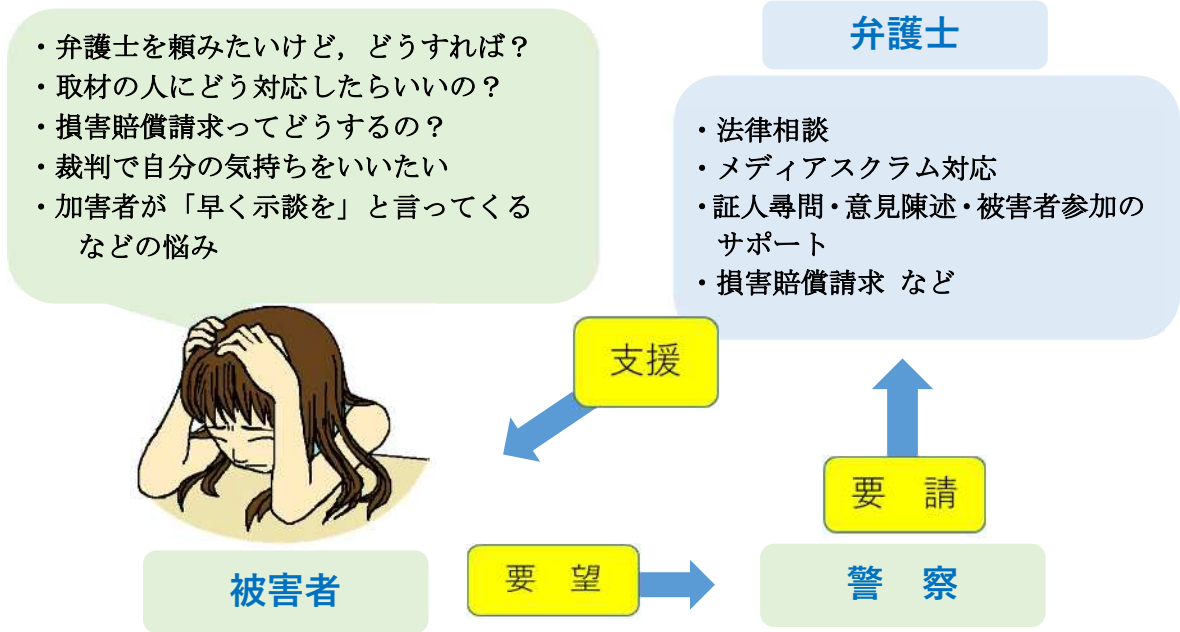
(1) 犯罪被害者等への配慮及び情報提供

- 性犯罪被害相談ダイヤル「勇気の電話」の運用
 - ・ 24時間365日運用
 - ・ 女性心理カウンセラーや女性警察官による対応
 - ・ 平成31年4月からはフリーダイヤル化（TEL# 8 1 0 3）
- 相談件数の推移と相談者の属性



- 主な相談内容
 - ・ 娘がSNSで知り合った男性と性行為をした
 - ・ 同僚女性が性被害に遭った
 - ・ ドラッグストアで体を触られた など
- 対応
 - ・ 相談者の承諾を得て管轄警察署へ引継ぎ、捜査を開始
- (2) 経済的負担の軽減に資する支援
 - 茨城県弁護士会との連携強化（11月14日連携協定締結）
 - ・ 早期に被害者側の弁護士を選定
 - ・ 適切な法律相談による精神的負担の軽減を経済的負担なく実施

【連携イメージ】



(3) 精神的被害の回復への支援

- 相談者のニーズに合わせた適切なカウンセリング体制の整備
 - ・ 犯罪被害者支援室の女性警部補が国家資格である「公認心理師」を取得

(4) 関係機関との相互連携・協力

- 性暴力被害者サポートネットワーク茨城における連携・協力
 - ・ 茨城県医師会、茨城県産婦人科医会、いばらき被害者支援センター、茨城県と茨城県警察との5者連携

事例：来院患者が性被害を受けたとの連携病院からの通報

(5) 県民の理解の増進

- 中・高校生を対象とした「いのちの講演会」、「命の大切さを学ぶ教室」の開催



【いのちの講演会】【命の大切さを学ぶ教室】
 犯罪被害者等による体験談を通じて自分や他人の命の大切さや、罪を犯してはならないことなどの規範意識を養うと共に、いじめや暴力をなくし、被害者や加害者も出さない街づくりに向けた気運の醸成を図る。

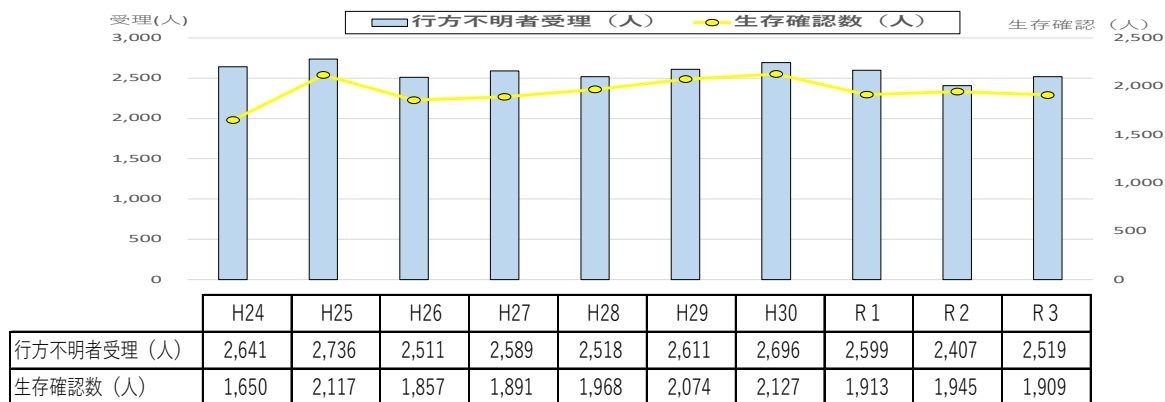
- 犯罪被害者支援に関するYouTube動画の配信（11月1日動画配信）



○ 高齢者等に係る行方不明者発見活動の推進について

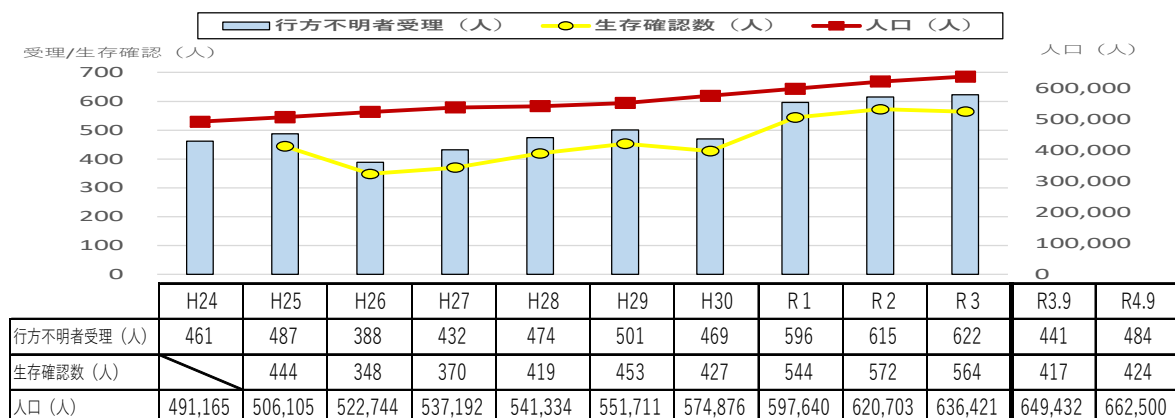
1 行方不明者届受理・生存確認数の推移

(1) 行方不明者全体



○ 行方不明者届受理人数は2,500人前後で推移し、高原状態

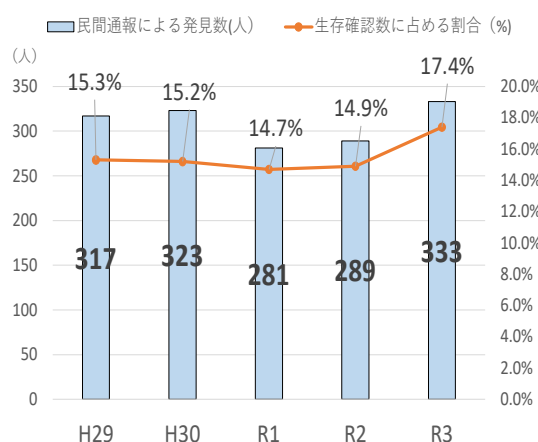
(2) 70歳以上



○ 70歳以上に係る受理人数は、年々増加傾向 ○ 生存確認は概ね9割

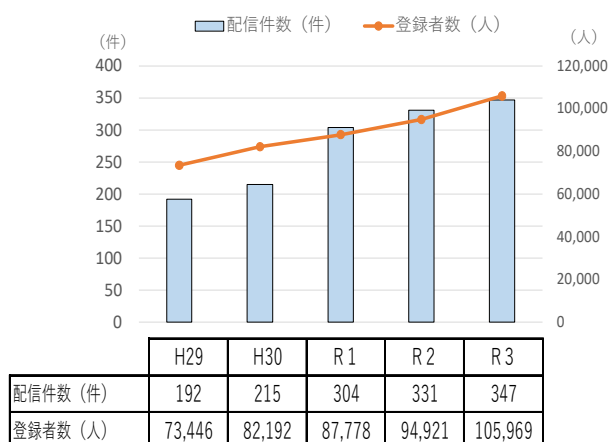
2 早期発見活動の強化

(1) 民間通報による発見人数



○ 令和3年中、住民や施設職員など民間通報による発見は333人

(2) 行方不明者等情報の配信状況



○ 行方不明者等配信件数、ひばりくん防犯メール登録者数は年々増加

(3) ひばりくん防犯メール配信例

<行方不明者情報について>
 ●本日、午前8時00分頃から、76歳の男性が、ひたちなか市高場地内において行方不明になっています。
 男性の特徴は、
 身長 160センチメートル位
 体型 中肉
 髪型 白髪交じり
 服装 上衣 青色ジャンパー
 下衣 グレーズボン
 履物 黒色スニーカー
 です。
 ●お心当たりのある方は、110番通報願います。

ひばりくん防犯メール配信画面

- 高齢者、年少者、病人など自救能力がなく、その生命・身体に危険が生じるおそれがある者
- 不明となった日時、場所、状況
- 年齢、性別、体格、人相、所持品等
- 早期発見に資する情報を配信

(4) 早期発見に資する自治体の施策

○ GPS機器貸出事業



高齢者見守りシューズ例



位置情報端末機（GPS）例

(概要)

- ・ 家族等に対し、位置情報端末機（GPS）を貸し出し
- ・ GPS装着可能なシューズ等に装着

○ 茨城県おかえりマーク



おかえりマーク（ひたちなか市）



おかえりマーク（常陸大宮市）

(概要)

- ・ 認知症（疑い）により、徘徊行動（そのおそれ）が見られる方が対象
- ・ 登録番号が入ったシールを靴、衣類等に予め貼付

○ 認知症高齢者等SOSネットワーク、防災無線等の円滑な活用等

○ 防犯における自助・共助の裾野拡大について

1 県民一人一人の自助・共助活動の裾野拡大に向けた取組

- 多様な世代の防犯ボランティア活動への参加を促進
- 「散歩しながら」、「花の水やりをしながら」など日常生活の傍ら防犯の視点をもって子供の見守り等を行うもの
- 地域全体の防犯への意識付け



ながら見守り活動促進ポスター



試合会場における参加者受付

久しぶりに、朝の登校時間に見守り活動ができました😊
 お天気だから、みんな元気に登校していましたね😊🎵
 気になるのは、保育園に行く車。ほとんどチャイルドシートに乗せてますが、中には子供が立ち歩いたりしている車も😞
 危ないですよー
 #ながら見守り
 #防犯
 #茨城県警
 #水戸ホーリーホック

今日は花のお世話をしながら見守り活動をしました。
 他学年の男子が傘をバトンのようにプルプルンしながら歩いてた。我が家の前は車もあまり通らないからまあ良いかも(良くない?)挨拶は出来たしね😊
 気をつけて帰ってね！
 #茨城県警
 #ながら見守り活動
 #水戸ホーリーホック



Twitterでの活動報告例

2 県内で活動する事業者による自助・共助活動の促進に向けた取組

- 犯罪抑止に特化した、防犯CSR活動への取組を促進
- 事業活動の傍ら、高齢者等への声かけ・見守り、犯罪抑止パトロール、広報啓発活動等を行うもの



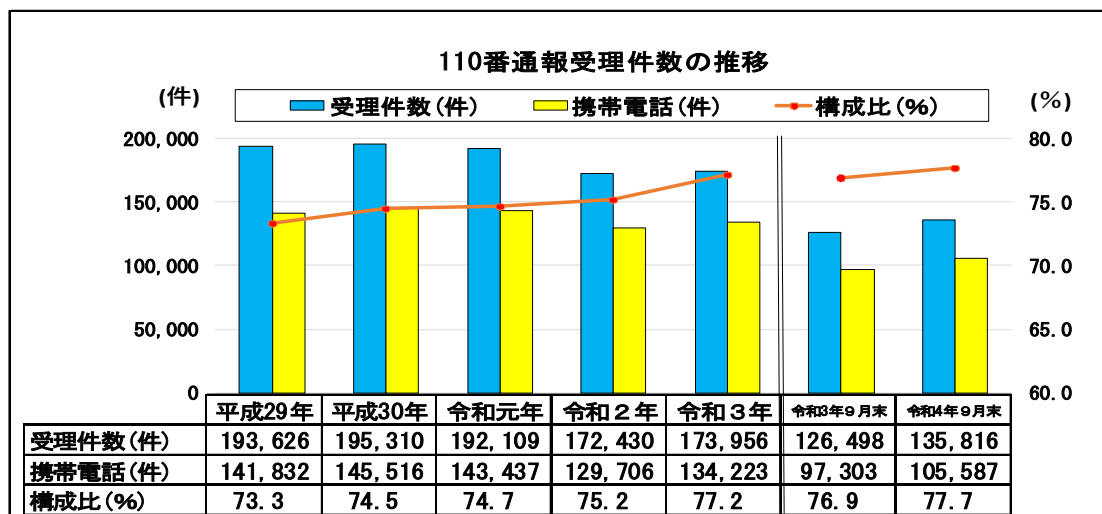
移動スーパー事業者による高齢者見守り



運送事業者による警戒パトロール

○ 迅速かつ的確な初動警察活動の推進について

1 110番受理状況



※ 110番通報受理件数には、いたずら電話、間違い電話等は計上していない。

- 110番通報受理件数は、19万件台で推移していたが、令和2年以降減少
- 本年9月末現在は、約13万5千件で、前年同期比約9千件の増加
 - ・ 1日あたり約497件、約2分54秒に1件の割合で受理
 - ・ 携帯電話からの110番通報が77.7%を占める。

【好事例】

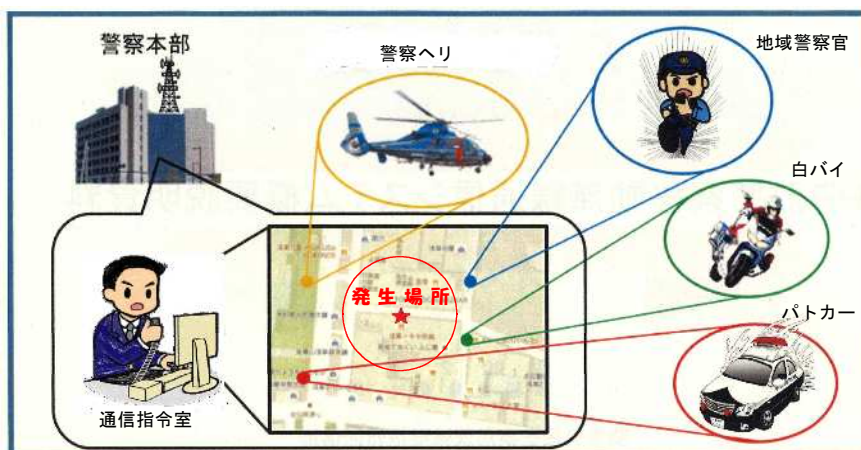
- ・ 通報者である女性宅の窓ガラスを割って侵入した元交際相手の男を逮捕し、女性を無事保護した事案
- ・ 急病により会話不能となった通報者である高齢男性について、消防と連携し、室内で倒れているところを無事保護した事案

2 通信指令システム等の効果的な活用

(1) 通信指令システムを活用した迅速な初動対応

「位置情報通知システム」「カーロケータシステム」等を活用した迅速・的確な初動対応

通信指令システム等の活用

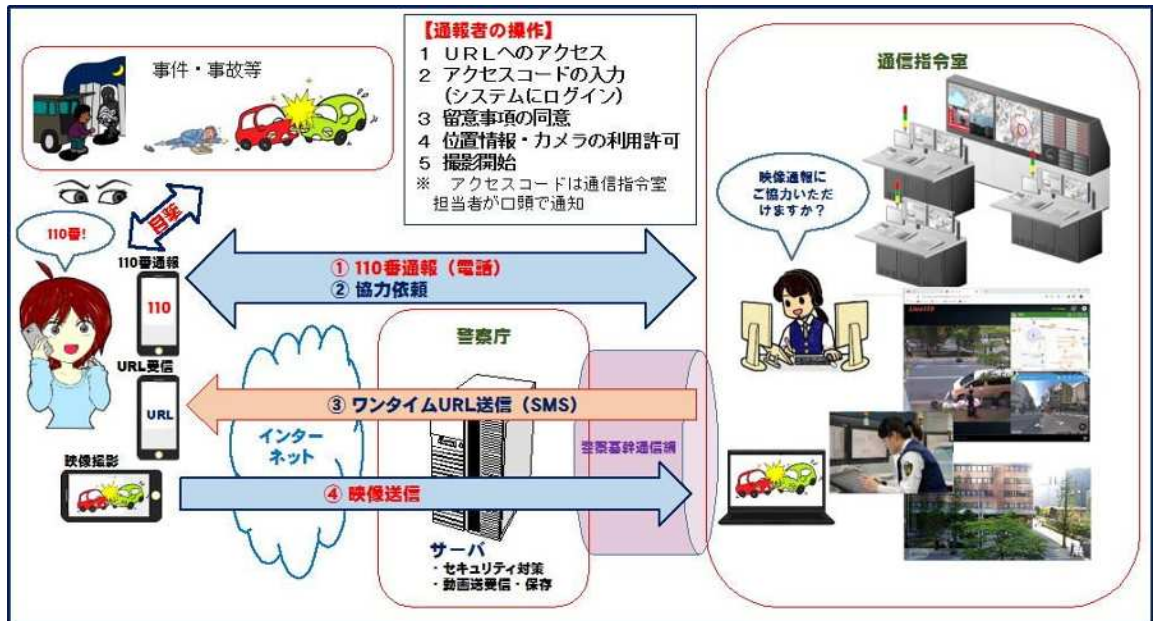


【効果的な事例】

逮捕監禁事案において、犯人が運転する自動車内の被害者からの通報により、位置情報を活用して車両を追跡し、被害者を無事保護した事例

(2) 110番映像通報システムの運用

映像又は画像の情報提供により、現場の状況を視覚的にリアルタイムで把握し、より迅速・的確な初動警察活動を推進



【全体イメージ図】



【SMS受信画面イメージ】



【留意事項画面イメージ】

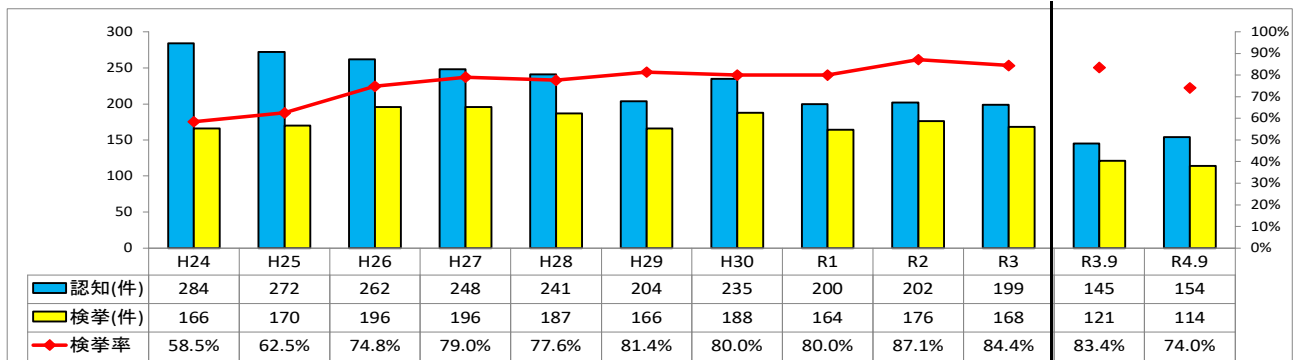
- 【留意事項画面】
1. 送信する映像等に係る著作権は放棄していただきます。
 2. GPS機能を用いて通報者の位置情報を取得します。
 3. 第三者のプライバシーを不当に侵害することがないように撮影をしてください。
 4. 映像等の送信に係るデータ通信料金は通報者の負担となります。

【好事例】

- ・ 小学校3年生の児童が所在不明となった事案について、通報者から当該児童の写真の提供を受け、手配を行ったところ、無事に発見保護
- ・ 遺書めいた手紙を残して女性が所在不明となった事案について、通報者から当該女性の写真の提供を受け、手配を行ったところ、無事に発見保護

○ 重要犯罪の検挙について

1 重要犯罪の認知・検挙状況（過去10年間の推移）



※ 重要犯罪：殺人、強盗、強制性交等、強制わいせつ、放火、略取誘拐及び人身売買

2 令和4年9月末と令和3年9月末の比較

	認知件数				検挙件数				検挙率		
	R4.9末	R3.9末	前年比		R4.9末	R3.9末	前年比		R4.9末	R3.9末	前年比 ポイント
			増減数	増減率			増減数	増減率			
茨城	154	145	9	6.2	114	121	-7	-5.8	74.0	83.4	-9.4
殺人	22	17	5	29.4	20	15	5	33.3	90.9	88.2	2.7
強盗	26	17	9	52.9	17	16	1	6.3	65.4	94.1	-28.7
放火	21	10	11	110.0	12	9	3	33.3	57.1	90.0	-32.9
強制性交等	27	16	11	68.8	19	13	6	46.2	70.4	81.3	-10.9
強制わいせつ	53	84	-31	-36.9	43	67	-24	-35.8	81.1	79.8	1.3
略取誘拐及び 人身売買	5	1	4	400	3	1	2	200	60	100	-40

※ 認知件数は154件で9件の増加

※ 検挙件数は114件で7件の減少

※ 検挙率は74.0%で9.4ポイントの低下

3 検挙のための取組

- (1) 徹底した初動捜査の推進
- (2) 捜査員の大量動員と部門を廃した組織捜査
- (3) 未解決重要事件の捜査強化（防犯カメラ画像解析やDNA型鑑定等の科学捜査の推進）
- (4) 戦略的な情報発信活動の推進

○ 情報提供による検挙例

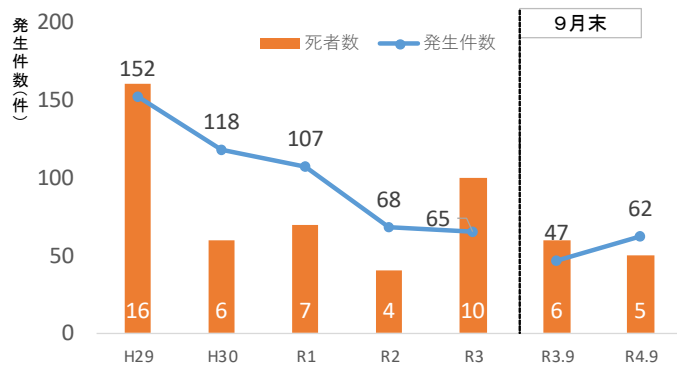
事件種別	通報手段	情報提供内容	捜査の結果
殺人・死体遺棄事件	警察署フリーダイヤル	事件発生から10年後、「元交際相手の家族が犯人かもしれない。」との情報	検挙
持凶器強盗事件	警察署加入電話	犯人の画像公開直後、「元同僚にとっても似ている。」との情報	検挙

※ 断片的な情報でも、被疑者検挙に結び付けることが可能

○ 飲酒運転の根絶について

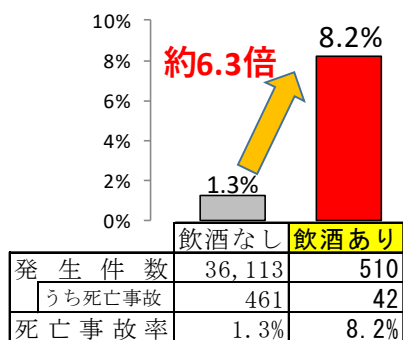
1 飲酒運転による交通事故発生状況（過去5年：平成29年～令和3年）

(1) 飲酒事故発生件数・死者数の推移



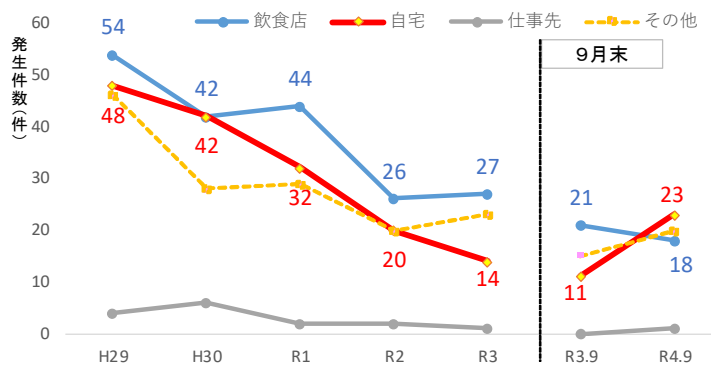
○ 本年9月末現在の発生件数は62件で昨年同期と比較し増加
 ○ 昨年の死者数は10人と前年と比較し大幅に増加

(2) 死亡事故率比較



○ 飲酒ありは飲酒なしと比較し、死亡事故率は約6.3倍

(3) 飲酒場所別



○ 昨年までの飲酒場所は飲食店が最も多かったが、本年9月現在、自宅が最も多い

2 飲酒運転の根絶に向けた対策

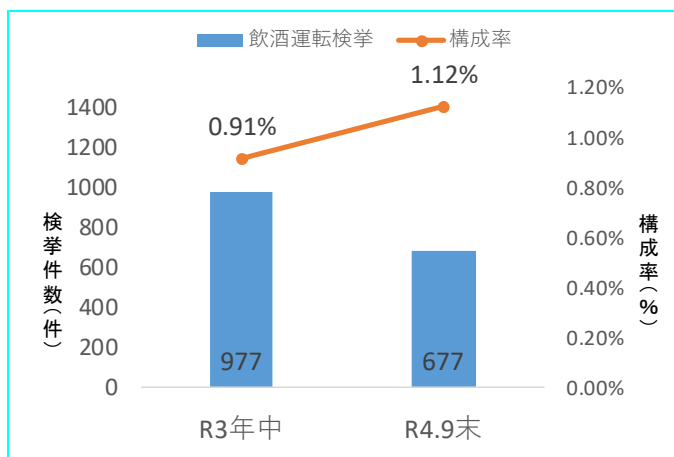
(1) 飲酒運転者の取締りの徹底と道路交通の場からの早期排除

(2) 飲酒運転の根絶に向けた規範意識の確立

ア 参加・体験型の交通安全教育

イ 各種広報媒体を活用した広報啓発

ウ 「飲酒運転根絶宣言の店」を始めとした関係業界等との連携



【総検挙件数に占める飲酒運転検挙状況】



【飲酒運転取締り】

○ 冬期におけるスリップ事故防止対策について

1 路面凍結等によるスリップ事故発生状況

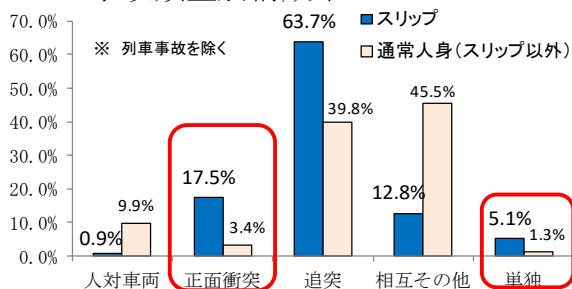
(1) スリップ事故発生状況の推移

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	
人身事故件数	148	32	12	10	32	
うち死者数	1	2	1	-	-	
物件事故件数	2,026	604	288	402	1,164	
降雪	水戸	6cm	-	-	21cm	
合計	つくば	20cm	7cm	-	-	11cm

○ 降雪量に応じ交通事故件数が増加する傾向にある

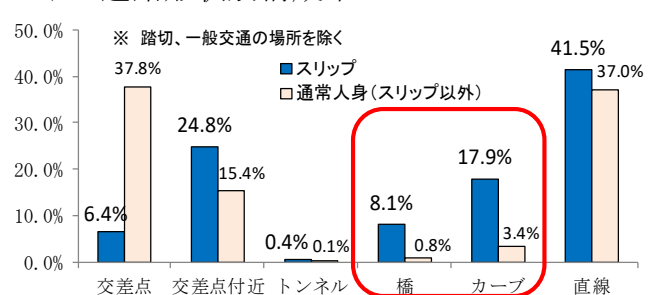
(2) スリップ人身事故の特徴（過去5年累計：平成29年から令和3年）

ア 事故類型別構成率



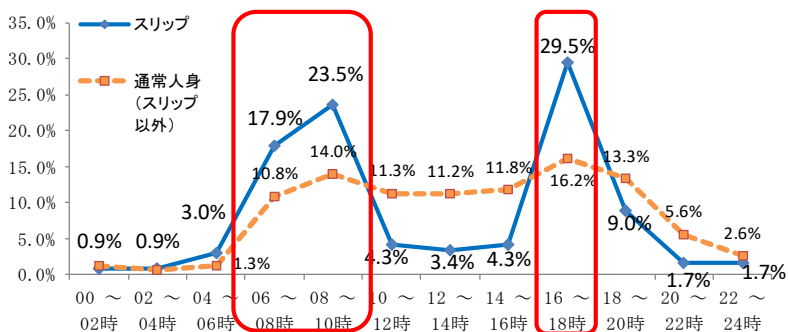
- 追突が最多
- 通常人身事故と比較すると正面衝突、単独事故の構成率が高い

イ 道路形状別構成率



- 直線が最多
- 通常人身事故と比較すると橋やカーブの構成率が高い

ウ 時間帯別構成率



- 朝夕の冷え込みと通通勤時間帯が重なる午前6時～10時、午後4時～6時の6時間に多発



【県警公式ツイッターによる情報発信】

2 冬期のスリップ事故防止に向けた対策

- (1) 道路管理者と連携した路面凍結防止対策
- (2) 各種広報媒体を活用した先行的な情報発信

○ 多様化する脅威への対策について

1 技術情報等の流出防止への取組

(1) 情勢

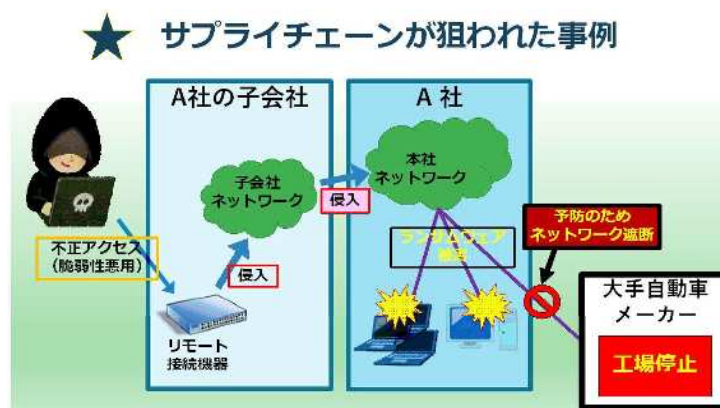
- ・ サイバー空間、実空間とも技術情報等の流出の脅威は極めて深刻
- ・ 技術を守るためには、情勢、事例、対策を理解することが重要

(2) サイバー攻撃の事例

ア サプライチェーン攻撃

イ 対策

- ・ ネットワーク機器、ファームウェア、パソコンの基本ソフト、ウイルス対策ソフト等を最新の状態にする
- ・ 関連企業のセキュリティ状況の確認



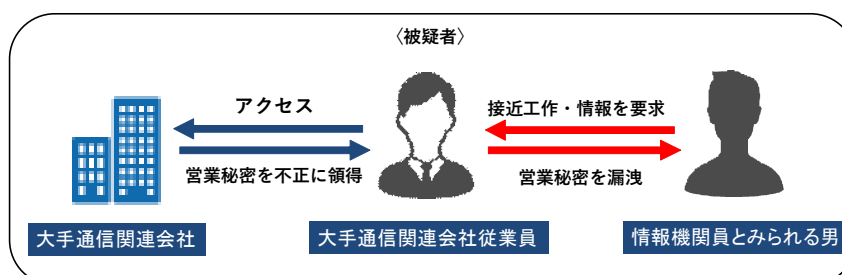
(3) スパイ工作の事例

ア スパイ工作による技術流出

イ 対策

- ・ 3つのS
 - ① 「S e e」 相手をよく見る
 - ② 「S t o p」 立ち止まって考える
 - ③ 「S h a r e」 共有する・相談する

スパイ工作による技術流出の事例



2 大規模災害対策

(1) 自然災害の発生状況

台風14号（全国各地で人的・建物被害が発生）

(2) 大規模災害に備えた各種訓練

ア 令和4年度東海村広域避難訓練

イ 茨城県建設業協会との合同救助訓練



令和4年度東海村広域避難訓練



茨城県建設業協会との合同救助訓練